

令和6年8月湯川村教育委員会臨時会 会議録
(令和6年8月19日開催)

湯川村教育委員会

令和6年8月湯川村教育委員会臨時会会議録

- 1 招集日時 令和6年8月19日(月) 午後6時00分
- 2 招集場所 湯川村役場「第1会議室」
- 3 出席委員 教育長 二瓶 重和
1番委員 常法寺 萬人(教育長職務代理者)
2番委員 齋藤 喜子 3番委員 小野 宏美 4番委員 塩川 秀樹
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した職員
教育次長兼学校教育課長 坂内 真隆 学校教育係長 川島 茂宏
- 6 会議録署名人の指名
2番委員 齋藤 喜子 4番委員 塩川 秀樹
- 7 書記の指名
教育次長 坂内 真隆

〈開 会 午後6時00分〉

- 1 開会
二瓶教育長が開会を宣言した。
- 2 会期の決定について
会期は本日一日限りとした。
- 3 議事日程について
資料に基づいて進行する。
- 4 会議録署名人の指名について
2番齋藤喜子委員、4番塩川秀樹委員の両名を指名。
- 5 書記の指名について
教育次長を指名した。
- 6 令和6年7月湯川村教育委員会定例会会議録の(再)承認について
令和6年7月湯川村教育委員会臨時会会議録の(再)承認について

(質疑)

- 常法寺委員 定例会の、p.1 歯の予防に力を入れて「コンクールに」参加してほしい、と直してほしいです。p.3 2週間しかいない。としてほしいです。p.5 教育長の発言の前に「現在の状況は？」という質問の流れがあったと思うので、確認してほしいです。「不登校の5年生女子」と補足で入れていただきたいです。
- 教育長 それだと、見る人が見れば誰だか特定されてしまうのではないですか。
- 常法寺委員 このままだと誰のことを言っているのかわからないです。
- 教育長 誰のことまではわからなくてよいのでは。「不登校の小学生」ではどうでしょうか。
- 常法寺委員 それだとよいと思います。

教育長 訂正します。

採決・・・可決【全員挙手で承認】

7 協議事項

・『湯川村の小学校の「あるべき姿」について』のアンケート（案）について（教育次長）
小学校のあるべき姿検討委員会の会議録について説明した。

（質疑）

教育次長 教育委員のみなさんに、アンケートの内容を承認いただいてから配布したいと考えました。アンケートの実施主体は教育委員会となります。

教育長 みなさまからご意見をいただき、村民のみなさまに、小学生（3年生以上）と、中学生以上に分けてアンケートを取る形で進めていきたいです。

塩川委員 会議録の最後の「小学校統合はいつ頃実現するようになるのか」という文言を見ると、統合ありきになってしまうと思いますが、本当にこういう質問だったのでしょうか。「検討する場合は」「統合にかじを切る場合は」などでないと、統合か今まで通りかを検討してもらうのに、この文言では統合ありきの質問ではないかと思えます。会議録は委員会には配付されるのでしょうか。

教育次長 次の委員会で配付する予定です。

塩川委員 そうすると、誤字や訂正箇所については、訂正する必要があると思います。

教育次長 委員のみなさまには承認いただいていないので、会議録（案）という形になります。

塩川委員 とりあえず気づいた箇所として、p.2 五十嵐委員長の発言「それむけた」は「それにむけた」ですよね。それから、会議録の小学校統合についてはどのような話だったかを教えていただきたいです。

教育次長 統合までに8年かかるのだとすると、幼稚園生にもアンケートを取るべきではという質問に対しての回答だったのですが、訂正したいと思います。

教育長 村政座談会で五十嵐委員長が村長に対して、統合にどのくらいかかるか質問をし、8年くらい見込んでいるという話がありました。

塩川委員 あくまでも統合するとすればということでしょうか。

教育長 そうです。

常法寺委員 何を目的とした会議なのか焦点化されていないので、たくさんの意見が出ていると思います。統合ありきの質問や、またバスなどについては関係ないと思います。令和12年度に複式学級になりますが、委員のみなさんがどういう意見を持っているかについて聞く会だと思っていました。意見をまとめて報告書とすると思っていましたが、会議録を見たら細部まで話し合いが行われていました。将来的に小学校がどうあるべきかを、資料をもとに話し合っていたら良かったです。「複式」のメリット、デメリット、統合へのみなさんの意見、将来の教育像について載せて、意見を出し合い、まとめて報告すべきだと思います。それを参考にしたいと思います。2回目の委員会でメリット、デメリットをもとに一人一人の意見を聞きまとめて、3回目にアンケートを取ってもよいと思っています。委員長、副委員長と焦点を絞って考えるよう検討しては。アンケートで具体的な中身まで聞く必要はないのでは。

教育長 1 回目の委員会は想定していたようには進まなかったです。次回からの進め方については、委員長とも確認していく予定です。アンケートは教育委員会主体で取ります。結果について意見を聞いた方が意見が出てきやすいと思い、このような流れとしました。村民の意見をまとめてデータとして提示したいという思いでアンケートを作成しました。8 月中に配布し、9 月中旬に回収し、下旬に結果を提示していきたいと考えています。

常法寺委員 委員の意見を聞いていないのに、先にアンケートを取ることに納得していません。統合ありきのアンケートになっています。「小学校のあるべき姿検討委員会」は将来小学校をどういう風にしたらいいかということだと思います。小学生には「統合しますか、しませんか」といったものでよいと思います。児童クラブを学校の中に作るの難しいと思います。このことは子どもたちに聞く必要はないと思います。通学路のことも聞かないといけないのですか。統合しなくて今までのままだもよいという子どもたちの意見が反映されない内容だと思います。この聞き方では、子どもたちの心理状態がわからないのでは。大人のアンケートのほうも、「講師や教員を採用して複式学級を解消した方がよいと思います。解消するなら今までのままだもよい」という選択肢もあった方がよいです。なぜなのかを書くスペースがあった方がよいと思います。3 の質問はいらないと思います。メリット、デメリットを入れないと判断できないと思います。9 月定例会で出してもらい、委員会を開いて意見を聞き、アンケートを配布する方がよいです。それをもとに村長が判断し、統合となれば適正規模検討委員会を作り、正式に答申して行うような形がよいです。このアンケートの結果はあくまでも意見書であると思います。ですので、このアンケート内容については、賛成できません。

小野委員 会議録で、「子どもへのアンケートで親が入ると親の意見が反映されるのでは」とありますが、子どもたちはどこでアンケートをやるのでしょうか。

教育長 学校で行います。担任の先生に読み上げてもらいます。

小野委員 高学年でも質問が多くて内容も理解できないのでは。3 年生には難しいのでは。「学校が一緒になったらこうなるけど、どう思いますか」や、「複式学級は 2、3 年が一緒になるけどどう思いますか」など、わかりやすい聞き方をしてはどうですか。メリット、デメリットを書いたほうがわかりやすいのでは。付記の、「このアンケートとは別に児童の気持ちや考えを聞くアンケートを実施しました」とありますが、何を聞くのでしょうか。1 回で済ませればよいのでは。

教育長 大人の方向けに、小学生には別のアンケートを行ったという報告です。

小野委員 わかりました。

教育長 アンケートを取る日にちの差を考えての表現です。8 月 29 日に配布予定で考えていたため、小学生のアンケートは終わっていると考えました。

小野委員 支援学級も実施するのですか。

教育長 行います。

小野委員 そうであれば、やはり内容が難しいと思います。

教育長 検討します。

齋藤委員 「複式学級」が何度か出てきますが、意味が分からないのでは。複式のメリット、

デメリットがわからないので伝えてほしいです。解消できるのなら少なくともよいと感じる人もいるかもしれません。今だとマイナスイメージなので、解消の案についても入れてほしいです。

塩川委員 大人と子ども、それぞれのアンケートの着地点がわかりません。着地点が同じになるのか心配です。事実として子どもが減る、複式になる可能性が高いですが、そうなったときどうあるべきかをそれぞれに問わなくてはなりません。「学年が一緒になったらどう思いますか」など、こういう状況になったらどう思うかを聞くべきです。表現は違って、質問の内容は同じにしないではいけません。統合ありきの内容になっています。メリット、デメリット、解消方法を入れないと、結果の分析が難しいのでは。整合性を取ったアンケートにしないと、子と親の意見の比較ができませんし、着地点がぼやけてしまいます。このアンケートはここまで聞く必要がないというものもあります。集計、分析、検討する際に大変だと思います。子どもたちの内容は多く、大人の内容は少ない気がします。内容を合わせて聞いてほしいです。あるべき姿検討委員会のみなさんとの拡大の意見交換会は可能なのでしょうか。

教育長 そこまでの想定はしていませんでした。

常法寺委員 アンケート内容は検討余地があり、早く取らなくてもよいと思います。検討委員に確認してもらい、9月下旬にアンケートをとり、10月下旬に内容を確認してもよいと思います。内容を確認し、意見をまとめ村長に報告すればよいと思います。

教育次長 総合教育会議が統合に軸足を置いた話と村長の話でもあったため、重点を強く置きすぎたかもしれません。

塩川委員 それならもっと見せてもよいと思います。例えば「人口減少のデメリット、こういう状況になっているので、統合についても真剣に考えなくてはいけない時期に来ているのでアンケートを取る」とします。「どうやって子どもたちにいい教育をしていくか検討しないといけない時期です。複式にせざるを得ない人数になってしまいました。」、「あり方」の意見に基づいて、今後のあるべき姿を検討しないといけません。」、「人数が減り、メリット、デメリットはこうです」が、みなさんで検討していきたいです。現状と将来像を説明してやっていかないといけません。統合には8年かかると聞きました。大人はアンケートの最初に説明を加えて、子どもは学校の先生がきちんと説明すべきです。丁寧に意見を聞くことが大事です。

教育次長 複式で学力が落ちるということではありません。学校の先生は大変かもしれないですが。

常法寺委員 磐梯町が複式を解消している例があります。少人数だと指導しやすいメリットもあります。総合教育会議で、村長は「いろいろな意見を聞いて、振興計画に活かしたい」ということだったので、統合ありきではないと捉えました。まとめて報告する場だと思います。「あるべき姿検討委員会」は適正規模検討委員会ではありません。

教育次長 報告書が重要な位置づけになると考えています。

常法寺委員 一人一人の意見を聞いてまとめて、事務局でどう判断するかわかりませんが、統合をしましょうという報告書ではないと思います。

教育次長 統合の時期が見えると、令和12年以降講師を配置して複式を解消するなど対応ができます。

常法寺委員 令和13年度から子どもが増えるかもしれませんが、現状、令和12年度には複式になる可能性があるので、意見について報告書を出せばよいと思います。統合となったら、適正規模・適正配置検討委員会を作った方がよいと思います。議員は入れないといけないのですが。

教育次長 湯川村では議員は今、諮問機関の委員にはならない方向となっています。

塩川委員 あるべき姿検討委員会では、住民の意見を聞き、どういう方向で行きたいという報告書を年内にあげれば、振興計画には反映できるということでしょうか。

教育次長 年内に報告書ができればよいです。

塩川委員 それなら急がなくてもよいと思います。

教育次長 たたき台をどうするかです。

塩川委員 住民の意見を聴取するためのアンケートについて、検討委員のみなさんと結果を検討し、どういう方向を目指すか検討し、報告書を作成し、年内に提出すればよいのでは。意味のないアンケートを取ってしまうと、また改めて取らなければならなくなります。再度検討委員会で検討して進めてほしいです。どういう内容だと検討できるかを考えて、スケジュールの話を委員にして、アンケートの着地点を検討しては。

教育長 気持ちとしては統合に向かったらと思い、誘導する形になってしまいました。見直しを加えて、皆さんから意見をもらいながら進めていきます。

齋藤委員 統合となった場合、特別支援学級はどうなるのですか。

教育長 どんな子がいるかによって、情緒学級、知的学級の二つができる可能性もあります。

塩川委員 そういうことも不安な方がいると思います。統合に向けての不安なことを吸い上げないといけません。タイムスケジュールは委員には正確に伝わっているのでしょうか。

教育次長 話はしてあります。

○その他

- ・8月19日の小中学校の先生対象の研修内容について

常法寺委員 研修内容を各学校で2学期から活かしていただきたいです。

齋藤委員 楽しかったので、子どもたちにぜひやってもらいたいです。

- ・8月27日開催の「令和6年度教育長・教育長研修会」について

教育次長 齋藤委員、小野委員が参加予定です。

常法寺委員 「会津ブロック研修会」はまだ日程が決まらないのですか。

教育次長 まだ決まっていません。

8 その他

○令和6年9月定例会の日程 令和6年9月4日(水)午後3時00分

- ・9月5日(木)から議会が始まるため、1日前に変更

9 閉会

二瓶教育長が閉会を宣言した。

〈閉 会 午後8時5分〉